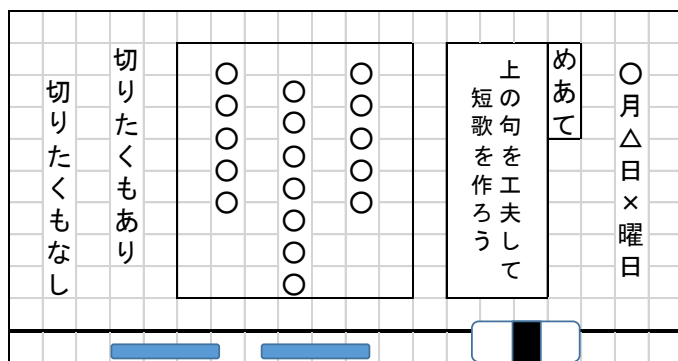


研究所だより

第108号 平成30年5月

変化を受け入れ、挑戦することを楽しむ

草津市立教育研究所 所長 北川 健



「切りたくもあり 切りたくもなし」。この下の句に対する上の句を考えよ、という課題が出されたとき、みなさんならどのような上の句を考えますか？

室町時代の歌人であり、この草津に生まれた山崎宗鑑（本名：支那範重）は、この課題に対して、即座に「ぬすびとを 捕へて見ればわが子なり 切りたくもあり 切りたくもなし」と詠み、その場にいた人たちを驚かせたといわれています。

宗鑑は、室町時代末期の連歌師で、みんなをあっと言わせるユニークな句を作ったことで知られています。彼は、機知に富み、天性ともいえる洒落っ気を持っていたそうです。

「機知」とは、「その場にに応じて、とっさに適切な対応や発言ができるような鋭い才知」という意味ですが、これこそ、今の教師に求められている力なのではないでしょうか。

さて、本年度より、道徳が教科化されました。また、2020年度の英語教育必修化に向けて段階的な取り組みも進められています。社

会の変化にともなって、学校現場でも新しい指導の在り方が求められ、先生方の授業力が求められる時代になったと感じられている方も少なくはないのではないのでしょうか。

教師としても色々な資質能力が求められる時代ではありますが、子どもたちによりよい教育を行うということでは今も昔も変わりません。

目の前の子どもたちが変化の激しい未来を切り拓いていけるよう、教師自身も変化を受け入れ、機知を活かし、子どもたちに返していけるよう努める必要があります。

当教育研究所では、今年度も①教員の研修、②調査研究、③教育相談、④スキルアップの4つの事業を行っていきます。若手の先生方の授業力向上はもちろん、ICT 機器や Pepper の活用方法にも取り組みます。また、研究奨励事業では、多くの先生方に取り組んでいただけるよう、応募部門を精選しました。

先生方、そして、草津の子どもたちのサポートができるよう、今まで積み上げてきたことを活かしつつ新たなことにも挑戦していこうと思います。

先生方、草津の子どもたちのよりよい成長のために、ともに機知に富んだ教育を目指していきましょう。



今日からこれで大丈夫！ ～「特別の教科 道徳」の授業と評価～

まずは学習指導要領の目標を確認しましょう。

道徳科の目標

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

『小学校学習指導要領』「第3章 特別の教科 道徳」

そこで、大事になってくるのが、授業づくりと評価の方法です。

以下の2つのポイントに注目しました。

ポイント1 「考え、議論する道徳」の授業を！

考えるとは…

児童生徒が主体的に
自分との関わりの中で考えること

自分の考え方や感じ方に気付く

議論するとは…

児童生徒が多様な考え方、
感じ方に出会い、交流すること

自分の考え方や感じ方を明確にする

あなたもしていませんか？…こんな道徳の授業…

読み物資料の心情理解に終始する授業

- ・ 気持ちの変化をとらえる
- ・ 人物の気持ちに共感させる

読み物道徳



望ましいと思われること、決まりきったことを 言わせたり、書かせたりする

- ・ 何が大切か
- ・ どうすることが望ましいか

押しつけ道徳

今日から変身！

自分との関わりで道徳的価値を考える授業

- ・ 自分自身を見つめる
- ・ 人物に共感し自分との関わりで気持ちを想像する

自分との関わりで多面的・多角的に考える授業

- ・ どのようなわけで大切なのか
- ・ どうすることが考えられるか



役割演技などの疑似体験的な活動を通して、実感を伴って理解させることで、自分のこととして主体的に考えることができます。

友だちと話し合う場の設定や、板書の工夫をすることで、多様な考え方や感じ方に気づくことができます。



ポイント2 学習状況が把握できる授業を！

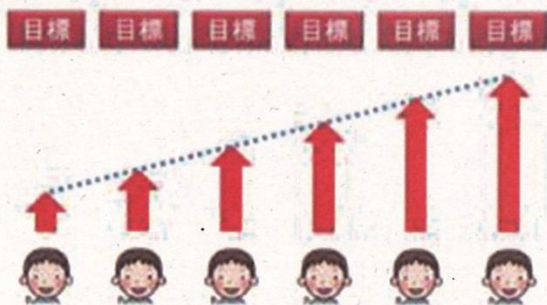
「児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする」
 学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」第3の4

- 数値による評価ではなく、記述式であること。
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価を行うこと。
- 個々の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行うこと。
- 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること。

1時間の授業だけではなく、授業の積み重ねで見てとれる児童生徒の成長や、一定期間を経て道徳的価値が深まったかを見取っていく必要があります。そのため授業づくりを教師自身もしていかなないと、評価ができません。



縦断的



学習状況を時間的に並べて、進歩の状況を確認するとき、「〇〇になりました。」

横断的



個人の目標に向けた学習状況ごとに横並びにして、突出したところをよさと認めるとき、「〇〇でした。」

評価の具体的な方法として…



- ・エピソード記録
- ・授業記録
- ・アンケートや振り返り
- ・作文
- ・道徳ノート
- ・道徳ファイル

などの評価の蓄積が大切です。みなさんの学校では、どう見取っていきますか？方法や観点について、共通理解を図っておくとよいですね。

詳しくは、昨年度各学校で配布された「道徳科における授業づくりと評価」の冊子を御活用ください。授業の実践事例や通知表の記述文例なども掲載されています。

また、教育研究所だよりを通して、各学校の取り組みなども紹介していきたいと思えます。



教育研究所では、今年も夏期研修講座を開催します。7月31日（火）AM に畿央大学教授 島 恒生 先生をお招きし、道徳研修講座「始めて分かった、成果と課題（仮）」と題しまして、御講義いただく予定です。ぜひ、御参加ください。

平成30年度 校内研究

本年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。

研究内容の情報交換や取り組みの共有をすることで、草津市内の先生方のつながりが深まり、指導力の向上につながると考えます。

学校名	研究主題	教科等
志津小学校	協働学習を通して、学びをさらに深め合う授業づくり ～学んだことから次の〇〇を見つけ出す子どもの育成～	全教科
志津南小学校	話す・つながる・深める授業を目指して、教師の授業力アップ！	全教科
草津小学校	「わかりやすい」「もっと学びたい」があふれる授業の創造 ～思考の可視化を通して 主体的・対話的で深い学びを追求する～	全教科
草津第二小学校	考えを深め、心を動かし、自分の生活に生かそうとする子どもが育つ 道徳授業の創造 ～明確なねらいに向けた手立てと評価の工夫～	特別の教科 道徳
渋川小学校	豊かな心を持ち、友だちや地域とつながり、よりよく生きようとする たくましい児童の育成 ～道徳科における授業改善～	特別の教科 道徳
矢倉小学校	子ども同士が高まり合う『特別の教科 道徳』における支援のあり方	特別の教科 道徳
老上小学校	児童が自ら読みを深め、考えを形成する国語科学習の在り方 ～単元構成を教育課程の工夫改善を通して～	国語科
老上西小学校	「協働学習を活かした算数科の授業の創造」 ～2年次 自ら考えを広げ、表現する子どもを育てる指導方法と評価 方法の開発～	算数科
玉川小学校	問題解決型の学習を通して「段取り力」を育てる ～場・もの・人との関わりから 自分の考えを確かにする子～	情報教育
南笠東小学校	国語科において正確に文章を読む力をつける授業づくり ～説明的な文章を正確にとらえ楽しむ子どもの育成を目指して～	国語科
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」確かな学力を育む授業づくり ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫（授業改善）～	全教科
笠縫小学校	いきいきと交流し、考えを深め合う道徳科の授業の創造 ～一人一人の見取りを大切に～	特別の教科 道徳
笠縫東小学校	主体的・対話的な学びのできる子どもの育成 ～「読むこと」の領域を通して～	国語科
常盤小学校	ICT を効果的に活用して、主体的・対話的で深い学びを実現する指導 法の工夫	全教科
高穂中学校	社会で生きて働く力を育む「たかほソーシャルスキル科（TSS科）」 の開発 ～総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムマネジメント～	全教科

草津中学校	「いのちがやき 心豊かな生徒の育成」 ～アクティブラーニングの視点からの授業改善～	全教科
老上中学校	よりよい生き方を目指し、考動する生徒の育成 ～ともに考え、内からの高まりを目指す道徳教育の推進～	特別の教科 道徳
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、探求し、人と協力して解決を目指す生徒の育成」 —いのち・環境・人権—	総合的な学 習の時間
新堂中学校	「やってみよう！仲間とともに まずは自分から」 ～自分を見つめ より良く生きようとする力を育てる～	特別の教科 道徳 全教科
松原中学校	「よりよい生き方を目指し、考えて行動する生徒の育成」 ～協働的に考え、よりよい判断に基づいて行動する道徳教育の推進～	全教科



期間 6月8日(金)～7月5日(木)
火・木・土 10:00～18:45
水・金 11:30～20:15
 (日・月・祝日は休室)
場所 アーバンデザインセンターびわこ・くさつ
(野路1丁目13番36号、西友南草津店1階)

第1回 自己啓発講座について

第1回目は、山田小学校 山田 淳子 先生より、「今日の子どもの姿から、明日の体育の授業をつくる 体育の学習で大事にしたい3つの力～からだ・ともだち・あたま～」と題しまして、実技を交えて教えていただきます。

別途各校に詳細を載せたチラシを配布しますので、教育研究所にFAX(563-0117)でお申し込みください。

日 時：6月1日(金)
 受付 17:45～
 講座 18:00～19:30

場 所：山田小学校 体育館
 持ち物：お茶(水分補給用)、体育館シューズ、タオル(汗ふき用)
 その他：運動できる服装でお越しください



平成30年度教育研究所事業紹介

研究奨励事業



- ・昨年度、小中学校・幼稚園より56名の応募がありました。本年度は4部門（フレッシュ研究部門、ステップアップ研究部門、就学前教育研究部門、アイデア部門）で実施し、教育研究のより一層の広がりを目指します。
- ・すべての所、園、学校からの応募を期待しています！！

研修講座

- ・本年度13講座の開催を予定しています。
- ・人権教育講座は、今年度2講座を予定しています。
- ・自己啓発講座は、3、4講座を実施予定です。
- ・8月1日（水）に、教育研究所研究発表大会を開催します。

ホームページを御覧ください
研究所の取り組みについて情報発信をしています。



草津市立教育研究所



内容は、平成29年度教育研究奨励事業の発表と教育講演会（講師：(株)オムロン京都太陽 様）

調査研究

【教育課程に関する調査・実践研究】

- ・「子どもたちのプレゼンテーション力を伸ばす～「わたしたちの草津」を活用した授業実践～」をテーマにして調査・実践研究を行います。

【地域教材作成】

- ・小学校3・4年生向け副読本「わたしたちの草津」の全面改定に向けて編集委員会を立ち上げます。
- ・社会科副読本「わたしたちの草津」ならびに、指導書(実践事例集)、ワークシート・評価問題の有効活用を推進ください。

スキルアップ事業

スキルアップ支援講座を担当します。よろしくお願いします。



スキルアップアドバイザー
山元 孝子



スキルアップアドバイザー
小宮 康



スキルアップアドバイザー
北川 健



ICTスキルアップアドバイザー
仲野 忠克



所長
北川 健



指導主事
嶋田達也



研究員
寺西英里

指導員紹介



適応指導教室担当
藤井弘美



西澤留美子

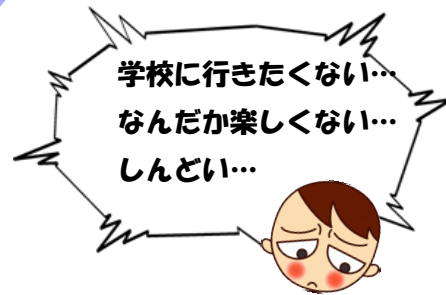
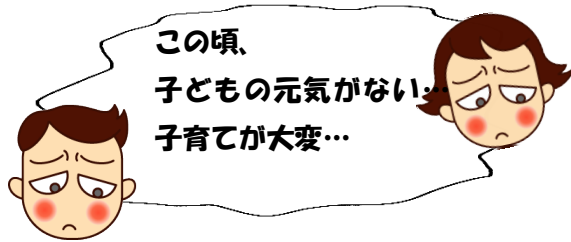


伊庭裕美



教育相談担当
河原田洋子

やまびこだより



やまびこ教育相談室

さまざまな悩みを抱えている子どもや保護者は、安心できる場所で自身のしんどさを語り、少しずつ現状を客観視できるようになります。相談者自身が本来持っている力を発揮し、解決に向けての方向性を見出し、いけるよう支援しています。



プレイセラピーって何？

子どもが自分の思いを適切な言葉で語れない場合、遊びなどを通して相談員との心の交流を図り、心情が自由に表出されるよう支援します。結果的に子どもの心が癒され情緒が安定するようになります。

適応指導教室

適応指導教室『やまびこ』は、学校に行きにくい状態にある子どもたちが学校復帰を目指してさまざまな学習活動に取り組んでいます。



くわしくは教育相談主任会で配布した「手引き」を御覧ください



シリーズ 司書さんおすすめの絵本



「モカと幸せのコーヒー」(刀根 里衣/著 NHK出版社)

日常に疲れきったぼくのもとに現れた白い小さなうさぎ「モカ」。まるでぼくのことを知っているような口ぶりでおせっかいを続けます。イライラが募るぼくでしたが、モカと仲間がいてくれたコーヒーは特別でした。

忙しい毎日に追われている先生におすすめの絵本です。心も身体もちょっとひと休みしませんか。モカの笑顔に癒されて、子どもの頃をなつかしく思い出したり、先生を志した頃の自分の気持ちに出会えるかもしれません。



「うみのしっぽ」(内田麟太郎/ぶん 長 新太/え 童心社)

捨てネコ同士がひっそりと暮し始めたばかりなのに、イヌに町を追われ、いじわるなタヌキやクマからも追われて、どんどん山奥の川上へと逃げていきます。

ところが、物語の中盤から一転、捨てネコ達の反撃!? がはじまります。

ナンセンスの名手二人による作品は、子ども達には頁をめくるワクワク感を感じさせてくれ、頭の固い大人達には、その「凝り」をほぐしてくれます。

さて、「うみのしっぽ」の正体は?



「やさいのがっこう ピーマンくんのゆめをみる」(なかわ みわ/さく 白泉社)

やさいの子ども達がおいしい野菜になるために通う「やさいのがっこう」(シリーズ)です。

ピーマン君は「いろよし」「つやよし」「かたちよし」の野菜になれるようゆめの中でも頑張っているつもりですが、なかなか「ごうかくシール」がもらえません。

「やさいのがっこう」の子ども達を自分に重ねることで野菜嫌いの子どものも自然と興味がわいてくるのではないのでしょうか。巻末に「食育しんぶん」付きです。



読み聞かせにご活用を